

2026年2月28日

セントラル警備保障株式会社  
執行役員代表取締役社長 市川 東太郎 殿

J M I T U  
(日本金属製造情報通信労働組合)  
中央執行委員長 三木 陵一

同 東京地方本部  
執行委員長 鈴木 透

同 セントラル警備保障支部  
執行委員長 堀 一洋

## 反論書

### 組合要求に対する「ゼロ回答」についての見解照会

貴社におかれましては、平素より従業員の労働環境にご配慮いただいていることと存じます。しかしながら、当組合よりこれまで数十年にわたり繰り返し申し入れてきた諸要求に対し、一貫して「ゼロ回答」を貫かれている現状について、率直なご見解をお伺いしたく、本書を提出いたします。

まず第一に、「ゼロ回答」を常態化させることが、果たして労使関係の健全な在り方と整合するのか、深い疑念を抱かざるを得ません。組合の存在意義を否定するかのような対応は、貴社が組織としての組合を認めていないのではないかと疑念を生むに十分です。

また、毎回のご回答が「社長のご意向」とされながらも、そのご意向が具体的にどのような見解に基づくものか、明示されることは一切ありません。これは、社長の言葉を盾にした責任回避とも受け取られかねず、誠に遺憾です。

私たちは、対話と協調を重んじる立場から、これまで粘り強く交渉の場に臨んでまいりました。しかしながら、一方的な沈黙とゼロ回答の連続は、もはや「対話の否定」に他なりません。このような姿勢が続く限り、労使の信頼関係は築かれず、ひいては企業の持続的発展にも影を落とすこととなるでしょう。

つきましては、以下の点について、社長ご自身の言葉にて、明確かつ誠実なご回答をいただきたく存じます。

1. なぜ、長年にわたり組合要求に対し「ゼロ回答」を続けてこられたのか。
2. 貴社は、当組合を労使関係における正当な交渉主体として認めておられるのか。
3. なぜ、社長ご自身の言葉での説明・回答がなされないのか。

以上、組織としての誠意あるご対応を、今こそ強く求めます。私たちは、沈黙の中に真実を見出す力を持っています。どうか、言葉での誠実な対話を通じて、未来への一歩を共に踏み出すことを願っております。

敬具

**反論書に対するご回答**

■ 回答指定日:2026年3月13日(金) ■ 回答形式:社長ご本人の言葉による文書  
回答